



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年2月5日

上場会社名 株式会社中京医薬品 上場取引所 東
コード番号 4558 URL <https://chukyoiyakuhin.co.jp/>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）米津 秀二
問合せ先責任者 （役職名）取締役コーポレート推進部 担当 （氏名）飯田 亨 TEL 0569-29-0202
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無： 無
決算説明会開催の有無： 無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第3四半期の業績（2025年4月1日～2025年12月31日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期第3四半期	5,248	3.7	298	13.6	310	13.9	218	36.4
2025年3月期第3四半期	5,059	3.0	262	△8.4	272	△9.4	159	72.3

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	20.44	—
2025年3月期第3四半期	15.00	—

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年3月期第3四半期	5,487	2,707	49.3
2025年3月期	5,065	2,526	49.9

（参考）自己資本 2026年3月期第3四半期 2,707百万円 2025年3月期 2,526百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	2.50	—	2.50	5.00
2026年3月期	—	2.50	—		
2026年3月期（予想）				2.50	5.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2026年3月期の業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	6,320	0.2	120	11.3	130	10.6	75	66.1	7.03

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期3Q	11,660,734株	2025年3月期	11,660,734株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	986,323株	2025年3月期	1,001,252株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期3Q	10,666,238株	2025年3月期3Q	10,653,685株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用環境の改善や大規模な賃上げの動き、インバウンド消費の拡大等を背景に緩やかな回復基調に推移し継続されていくことが期待されております。反面、他国の紛争の長期化や円安による原材料・エネルギー価格の高騰、気候変動等による食料品を含む物価高、人手不足に伴う人件費や物流費の上昇など先行きの不透明感が継続しています。さらにインフレリスクに伴う消費者の購買意欲の足踏み状態など景気の先行きは依然として予断を許さない状況が続いています。

当業界におきましても、消費の回復傾向は見られるものの、人手不足の深刻化や賃金コストの上昇、仕入・物流コストの増加など経営環境への厳しい状況が続きました。

このような環境の中で、当社は企業理念として掲げる「健康づくり、幸福づくり、人づくり」の具現化に向けて、お客さまの生活を支えるための商品開発や情報・サービスを多角的・多面的に拡充するトータルライフ・ケアを推進してまいりました。また、当社ならではの「ふれあい業」による人と人との絆によるヒューマンネットワークを広げ、お客さまや市場に継続的に評価をいただくことに努め、収益力と企業体質の強化を図ってまいりました。

その結果、当第3四半期累計期間における売上高は5,248百万円（前年同期比3.7%増）、営業利益は298百万円（前年同期比13.6%増）、経常利益は310百万円（前年同期比13.9%増）、四半期純利益は法人税等調整額24百万円を計上したため218百万円（前年同期比36.4%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①家庭医薬品等販売事業（小売部門・卸売部門）

小売部門においては、仕入・原料コスト等の増加という厳しい環境に対応するため、販売価格等の適正化を実施し、収益性の改善に努めました。また、多様化する社会のニーズに応えるべくトータルライフ・ケアの推進を経営の柱として、商品開発や既存商品のリニューアルを積極的に実施しました。事業基盤の強化として、配置薬などの委託販売を推進することにより、安定した収益基盤の確立と、新たな顧客への販売、継続的な販売に取り組みしました。また生産性向上を目指し、商品群やサービス形態によるカテゴリ別アクションプランを策定し、その実行を強力に促進いたしました。

今後は積極的な人材採用活動を継続し、組織力の強化を図ります。特に、お客さまとのふれあい業の強みを活かし、新しいサービスの創出や革新的な価値創造に注力してまいります。

卸売部門においては、他企業のストアPB（プライベートブランド）の拡大やクロスセルの実施により販売の拡大に努めました。更に、冬季商品の継続的な販売、防災・備蓄対策商品等におけるペットボトル飲料の需要も高まり、販売に注力してまいりました。EC事業（インターネット通信販売事業）につきましても強化し、安定的な収益基盤の構築を図りました。

その結果、売上高は4,659百万円（前年同期比3.4%増）、セグメント利益は223百万円（前年同期比22.5%増）となりました。

②売水事業部門

売水事業部門においては、10月以降においても例年以上の高温に伴い飲料水（12Lボトル）の売上は堅調に推移しました。近年、防災対策としての水の備蓄や熱中症対策として、ミネラルウォーター宅配市場の必要性が高まっており、中核事業の1つとして確固たる地位を確立することを目標としております。また水関連商品等のサイドメニューのラインアップを拡充し、多様なお客さまへのニーズに対応することで利用促進を図りました。

その結果、売上高は589百万円（前年同期比6.1%増）、セグメント利益は75百万円（前年同期比6.5%減）となりました。

（2）当四半期の財政状態の概況

（資産）

当第3四半期会計期間末における流動資産は3,394百万円となり、前事業年度末に比べ469百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金の増加159百万円及び受取手形、売掛金及び契約資産の増加251百万円によるものであります。固定資産は2,092百万円となり、前事業年度末に比べ47百万円減少いたしました。これは主に無形固定資産の減少30百万円によるものであります。

この結果、総資産は5,487百万円となり、前事業年度末に比べ422百万円増加いたしました。

（負債）

当第3四半期会計期間末における流動負債は1,855百万円となり、前事業年度末に比べ104百万円増加いたしました。これは主に短期借入金の増加70百万円によるものであります。固定負債は923百万円となり、前事業年度末に比べ135百万円増加いたしました。これは主に長期借入金の増加139百万円によるものであります。

この結果、負債合計は2,779百万円となり、前事業年度末に比べ240百万円増加いたしました。

（純資産）

当第3四半期会計期間末における純資産は2,707百万円となり、前事業年度末に比べ181百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金の増加163百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は49.3%（前事業年度は49.9%）、1株当たり純資産額は253.69円（前事業年度は236.98円）となりました。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の業績予想につきましては、2025年5月13日付けにて発表しました業績予想からの変更はありません。詳細につきましては「2025年3月期 決算短信」をご覧ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年 3 月 31 日)	当第 3 四半期会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1, 235, 465	1, 394, 837
受取手形、売掛金及び契約資産	585, 961	837, 677
電子記録債権	15, 589	41, 945
商品及び製品	506, 042	601, 360
委託商品	442, 594	423, 172
仕掛品	91	77
原材料及び貯蔵品	37, 027	25, 894
その他	108, 720	78, 680
貸倒引当金	△6, 526	△9, 361
流動資産合計	2, 924, 966	3, 394, 284
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	428, 529	406, 610
土地	1, 198, 806	1, 196, 678
その他 (純額)	12, 074	41, 987
有形固定資産合計	1, 639, 410	1, 645, 276
無形固定資産	112, 226	82, 011
投資その他の資産		
前払年金費用	84, 431	80, 771
その他	304, 687	285, 171
貸倒引当金	△467	△258
投資その他の資産合計	388, 651	365, 684
固定資産合計	2, 140, 288	2, 092, 972
資産合計	5, 065, 254	5, 487, 257
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	245, 132	313, 334
電子記録債務	76, 586	34, 332
短期借入金	750, 000	820, 000
1 年内返済予定の長期借入金	144, 446	195, 868
未払法人税等	54, 841	57, 953
賞与引当金	142, 310	67, 390
その他	337, 488	366, 874
流動負債合計	1, 750, 805	1, 855, 753
固定負債		
長期借入金	380, 014	519, 688
退職給付引当金	161, 620	155, 419
株式給付引当金	47, 364	48, 921
長期未払金	178, 120	178, 120
その他	21, 221	21, 412
固定負債合計	788, 340	923, 561
負債合計	2, 539, 145	2, 779, 315

（単位：千円）

	前事業年度 (2025年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2025年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	681,012	681,012
資本剰余金	527,622	526,904
利益剰余金	1,577,497	1,741,211
自己株式	△296,672	△292,330
株主資本合計	2,489,460	2,656,797
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	36,648	51,144
評価・換算差額等合計	36,648	51,144
純資産合計	2,526,109	2,707,941
負債純資産合計	5,065,254	5,487,257

(2) 四半期損益計算書

(単位：千円)

	前第 3 四半期累計期間 (自 2024年 4 月 1 日 至 2024年12月31日)	当第 3 四半期累計期間 (自 2025年 4 月 1 日 至 2025年12月31日)
売上高	5,059,696	5,248,945
売上原価	2,142,892	2,278,653
売上総利益	2,916,804	2,970,291
販売費及び一般管理費	2,654,301	2,671,990
営業利益	262,503	298,300
営業外収益		
受取利息	68	842
受取配当金	1,701	6,049
受取家賃	11,168	10,982
その他	2,974	3,926
営業外収益合計	15,913	21,801
営業外費用		
支払利息	5,998	9,857
その他	1	1
営業外費用合計	5,999	9,859
経常利益	272,416	310,243
特別利益		
固定資産売却益	301	4,068
特別利益合計	301	4,068
特別損失		
固定資産除売却損	2,662	0
特別損失合計	2,662	0
税引前四半期純利益	270,055	314,311
法人税、住民税及び事業税	71,227	71,550
法人税等調整額	39,001	24,701
法人税等合計	110,229	96,251
四半期純利益	159,825	218,059

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第 3 四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第 3 四半期累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第 3 四半期累計期間 (自 2024年 4 月 1 日 至 2024年12月31日)	当第 3 四半期累計期間 (自 2025年 4 月 1 日 至 2025年12月31日)
減価償却費	41,090千円	35,236千円
のれんの償却額	31,979	26,729

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第 3 四半期累計期間（自2024年 4 月 1 日 至2024年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期損益 計算書計上 額 (注) 3
	家庭医薬品等販売事業		売水 事業部門	計				
	小売部門	卸売部門						
売上高								
小売販売及び 卸売販売	2, 348, 588	1, 425, 849	553, 615	4, 328, 053	1, 257	4, 329, 311	－	4, 329, 311
配置販売	730, 384	－	－	730, 384	－	730, 384	－	730, 384
顧客との契約 から生じる収益	3, 078, 973	1, 425, 849	553, 615	5, 058, 438	1, 257	5, 059, 696	－	5, 059, 696
外部顧客への売上高	3, 078, 973	1, 425, 849	553, 615	5, 058, 438	1, 257	5, 059, 696	－	5, 059, 696
セグメント間の内部 売上高又は振替高	－	－	1, 983	1, 983	－	1, 983	△1, 983	－
計	3, 078, 973	1, 425, 849	555, 598	5, 060, 422	1, 257	5, 061, 680	△1, 983	5, 059, 696
セグメント利益	159, 750	22, 385	80, 366	262, 503	－	262, 503	－	262, 503

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含んでいない事業セグメントであり、保険事業部門等を含んでおります。

2. 調整額はセグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第 3 四半期累計期間 (自2025年 4 月 1 日 至2025年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期損益 計算書計上 額 (注) 3
	家庭医薬品等販売事業		売水 事業部門	計				
	小売部門	卸売部門						
売上高								
小売販売及び 卸売販売	2, 414, 606	1, 527, 257	588, 344	4, 530, 208	1, 001	4, 531, 210	—	4, 531, 210
配置販売	717, 734	—	—	717, 734	—	717, 734	—	717, 734
顧客との契約 から生じる収益	3, 132, 341	1, 527, 257	588, 344	5, 247, 943	1, 001	5, 248, 945	—	5, 248, 945
外部顧客への売上高	3, 132, 341	1, 527, 257	588, 344	5, 247, 943	1, 001	5, 248, 945	—	5, 248, 945
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	1, 189	1, 189	—	1, 189	△1, 189	—
計	3, 132, 341	1, 527, 257	589, 533	5, 249, 132	1, 001	5, 250, 134	△1, 189	5, 248, 945
セグメント利益又は損 失 (△)	227, 563	△4, 437	75, 174	298, 300	—	298, 300	—	298, 300

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含んでいない事業セグメントであり、保険事業部門等を含んでおります。

2. 調整額はセグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。